

 NCJTA NEWSLETTER  
北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.net>

第 42 号・2015 年 3 月発行

北加日本語教師会 2015 年春の例会  
Sunday, March 22  
University of California, Berkeley

会長挨拶



会長挨拶・お知らせ  
高松信子

新学期に入り北加日本語教師会の会員の皆様方におきましては  
お忙しく過ごしていらっしゃるものと存じます。昨年暮れから  
世界的異常気象現象によりあちこちにおいて豪雨、大雪を経験  
しておりましたが、皆様方のお住いの近辺はいかがでしたでし  
ょうか。また国際関係も日増しに緊張を増し、日本も非道、卑  
劣極まりないテロ行為の被害者となってしまうました。総理か  
らは「日本が、テロに屈することは、決してありません。中東  
への食糧、医療などの人道支援を、更に拡充してまいります。  
テロと闘う国際社会において、日本としての責任を、毅然とし  
て、果たしてまいります。」と強い決断の言葉をお聞きしまし  
た。ここサンフランシスコにおきましては日本人町商店街の  
方々がお集まりになり、在サンフランシスコ日本国総領事館から安全対策強化のお知らせ  
の会合が持たれました。サンフランシスコ恒例の桜まつりも四月に控え、参加辞退の団体  
がでているとの声を聞いております。このような情勢の中、我々日本語教育に携わる者と  
して、お互いの考えや気持ちを表現できる言語教育に力を注ぐことにより、少しでも人々  
の相互理解に役に立てればと願っております。



さてこの春の例会では Japan Foundation との共催により、メキシコ日本文化センタの蟻末淳  
氏をお招きして「JF スタンダード理解促進研修」についてのワークショップを持つことにな  
りました。蟻末氏はフランス・ボルドー第三大学にて「ディスコースと表象」言語学を  
専攻なさり近現代文学修士取得後 1999 年から 2010 年までフランス国立ボルドー第三大学日  
本語学科他にて日本語講師として勤務なさいました。その後 2010 年～2013 年までケニア国  
立ケニヤッタ大学客員講師（国際交流基金派遣日本語専門家）を務められ、2014 年 5 月よ  
り国際交流基金メキシコ日本文化センター日本語教育アドバイザーとしてご活躍されてい  
ます。コンピューターを取り入れたコースデザイン・授業構築や e-learning、日本から遠く  
離れた国での日本語教育・教材開発などに携っていらっしゃいます。今回は全米で二か  
所、ハワイとカリフォルニアのこの北加日本語教師会にてワークショップをなさってくだ  
さいます。

このまたとない大変貴重なワークショップにお知り合いの先生方にもお声をかけ、皆様は

NCJTA  
2015  
春の例会



非ご参加くださいますようご案内申し上げます。当日はお弁当を食べながら皆様方とお話できるのを楽しみにしております。

北加日本語教師会春の例会  
NCJTA Spring Conference

『JF スタンダード理解促進研修』

NCJTA Spring Conference

3月22日(日)@University of California, Berkeley

春の例会は国際交流基金との共催で、「JF スタンダード理解促進研修」として3月22日に開催されます。

添付フライヤーを是非ご覧ください。コンピューターをお持ちの方はご持参ください。

- 日時：3月22日（日曜日） 午前9時より午後4時まで
- 場所：102 Moffitt, University of California, Berkeley（Classrooms と表示のある入り口よりお入りください）
- 国際交流基金より講師蟻末淳（ありすえじゅん）先生をお招きして行います。
- 申し込み締め切り：3月10日（火曜日）
- 申し込み：添付の用紙をご使用ください。添付申し込み用紙に、ご希望のお弁当を明記して、3月10日必着 でお申し込みください。

NCJTA 会計から



NCJTA 会計から

NCJTA の会費は一般 15 ドル、学生 5 ドルです。2015 年度分の会費（2015 年 1 月から 12 月まで有効）を未納の方は本ニュースレターに添付の会員申込書あるいは春の例会申込書とともにご郵送くださるか、例会の当日お支払いください。昨年までの会費が未納の方も、今年のための会費で結構です。

尚、3月22日（日）に UC Berkeley で行われる春の例会「JF スタンダード理解促進研修会」に事前に申し込みいただいた方には、お弁当を特別価格の 5 ドルでご用意いたします。当日のお弁当の申込みは受け付けませんのでご了承ください。添付の例会申し込み用紙を高坂までお送りください。例会の事前申し込みの締め切りは3月10日、火曜日（必着）です。皆様のご参加をお待ちしております。

（文責：高坂）

NCJTA  
2015  
春の役員会報告



2015 年 春の役員会報告

日時：2015 年 1 月 25 日（日曜日）午前 12 時半～3 時

場所：UC Berkeley

出席者 14 名（以下、出席者、報告者の敬称略）：高松、グラント、森川、真木、宇田、高坂、森口、南、猪俣、清水、須田、伊藤、神原、小澤（領事館）

1. 新役員・役員の交代について：真木先生が 6 月で学園長を退任されるため、宇田先生が NCJTA の学園代表のポジションを引き継ぐ。また、新たにウェブサイト担当の役員を募集する。今後、by law に従って、偶数年に会長／書記、奇数年に副会長／会計の選挙を行う。（春の例会にて選挙、秋から任期が始まる。）

NCJTA  
2014  
秋の例会報告



お知らせ



2. 領事館からのお知らせ：小澤さんが栄転のため、2月13日に帰国。後任の方は7月頃就任予定。それまではゴールドマンさんが窓口。以下、イベントとその締切。

- 学生向けの茶道会（裏千家）の開催日：3月13日、18日、20日  
申込締切日：1月30日
- 小学生の日本語お話大会の開催日：3月1日 申込締切日：2月13日
- 文科省奨学金制度 日本語／日本文化研修 申込締切日：2月27日

3. ACTFL Convention 参加の報告：詳細は伊藤先生の「JF-AATJ Leadership Training の参加報告」を参照。

4. 春の例会・JF スタンダード理解促進研修について：ワークショップの内容についての要望や、会場、お弁当手配等の事務的手続きについての話し合いが行われた。

5. ニュースレター：仕事分担についての確認と話し合いが行われた。

（文責：猪俣）

2014 年 NCJTA 秋の例会報告

NCJTA2014 年秋の例会は、11月8日（土）に Berkeley City College にて開催されました。例会では Los Gatos high School のマクダニエル先生と、Lynbrook High School の小林先生が「テクノロジーの効率的な使い方」について発表してくださいました。発表では、日本語を教える際に役立つオンラインリソースと、その効率的な使い方が具体例を挙げながら紹介されました。普段使っている Google や Youtube にも意外に知られていない「裏技」があり、教室や教室外の活動でも実践的に使えるコツを伝授してくださいましたので、例会後に早速試された先生方も多いのではないのでしょうか。ご紹介いただいた主なオンラインツールの概要は以下の通りです。

1. Google Forms：学生のプロジェクトの進捗状況の記録や、成績を整理できる。
2. Google Drive Folders：生徒に Google Folder を作らせ、提出物を提出させる。
3. Google Search：“How to” や「～の使い方」などの言葉で検索すればわからないことに遭遇した時に、答えを得られる可能性が高い。また、手書き認識の機能がついていて、漢字の読み方を調べる時も便利。
4. Youtube：クリップに字幕やキャプションを追加することが可能。
5. Symboloo：ブックマークのサイトで、お気に入りのサイトを見やすく、カテゴリ別に整理できる。

同先生方は例会前の FLANC のセッションにおいても、“Teaching Digital Age Students”というタイトルで発表して下さいました。ISTE(International Society for Technology in Education)Standards が紹介され、学生がビデオを自主制作するプロジェクト等と照らし合わせながら、デジタルに慣れ親しんだ世代を教える際の留意点について示唆に富んだ発表をしていただきました。秋の例会と続けて出席された方には、ちょうどいい流れだったのではないのでしょうか。

（文責：猪俣）

役員改選のお知らせ

北加日本語教師会の副会長、会計、小学校代表が 2015 年春で任期満了となっております。また、ウェブサイト担当の役員を新たに募集いたします。上記の役員に立候補ご希望、もしくはどなたかを推薦されたい方は添付の用紙にご記入の上、下記住所までご郵送ください。（3月10日必着高松まで）

宛先： Nobuko Takamatsu  
City College of San Francisco  
50 Phelan Avenue, A108  
San Francisco, CA 94112



## JF-AATJ Leadership Training の参加報告



昨年の 11 月 20 日から 23 日まで四日間、私は北加日本語教師会の代表として Japan Foundation と AATJ (American Association of Teachers of Japanese) が共催したリーダーシップトレーニングに参加してきました。AATJ には北加日本語教師会をはじめ、全米 24 の local affiliate がおり、各 affiliate の代表 24 名が集まり、活発な話し合いが行われました。今回はアドボカシーとアセスメントが大きなテーマになっていましたが、全米各地の affiliate が同じような問題を抱えていました。

「勉強会を開いても、遠隔地に住む会員の方々がなかなか参加できない。」

「K-12 の日本語プログラムの数が減っている。急になくなってしまいうケースが多いため、先生方はどうしていいかわからない。」

「若手の先生方が育っていない。」

「役員のメンバーが変わらない。」

「資金集めに苦労している。」

一方で、Japan Foundation からの助成金を利用し、遠隔地の学校を訪問したりして積極的に情報交換を行っているところもあるそうです。日本語プログラムを維持できるかどうか、毎日不安に思いながら教えていらっしゃる先生方も多いと思いますが、全米各地で日本語プログラムの数が減っていることに改めて気付かされました。日本語教育を促進するために、地域で出来ることと全国レベルで出来ることがあります。地域で出来ることは各 affiliate がやり、全国レベルで出来ることは AATJ や Japan Foundation のような大きな組織に任せる。日本語教育を次の世代に繋げるため、これからは全国レベルで積極的に情報を交換し協力し合うことが大切であることを実感しました。

AATJ を通して北加日本語教師会の会員になることも可能です。AATJ の会員になる時、local affiliate として Northern California Japanese Teachers Association (NCJTA) を選んでいただくだけで、自動的に両方の会員になることができます。(会員入会書を郵送する必要もなく、すべてオンラインで入会手続きを済ませることができます。

<http://www.aatj.org/membership>)

AATJ や Japan Foundation のウェブサイトには、私達教師のために、アドボカシーのためのリソースが多々載せられています。皆さんも是非、ご活用下さい。今回リーダーシップトレーニングに参加し、会員の皆さんが一人で悩まず、皆でサポートし合えるような教師会にしていけたらと思いました。

「心強い」アドボカシーのためのリソース

Japan Foundation (国際交流基金) Los Angeles Advocacy Website

<http://www.jflalc.org/jle-advocacy.html>

Speak Japan (自分の学校のニーズに合わせて、パンフレットを作ることができます。)

<http://speakjapan.jflalc.org>

AATJ (全米日本語教師会) Advocacy

<http://www.aatj.org/advocacy>

AATJ Facebook page (AATJ がもっと身近な存在に感じられると思います。)

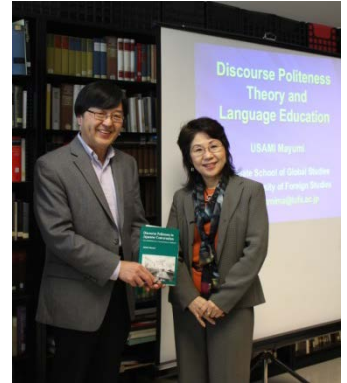
## 東京外国語大学 宇佐美先生 講演

11月18日、東京外国語大学大学院 宇佐美まゆみ教授が、「ディスコース ポライトネス セオリーと第二言語学習」と題してサンフランシスコ州立大学で講演した。

宇佐美先生は、円滑な人間関係を築くための言語活動に注目し話し手と聞き手の双方に配慮したポライトネス（対人配慮行動）のあり方を、日本語、中国語、英語などの比較で語った。例えば、日本語では依頼する際、前置きが長いのが基本型だが、中国語では、単刀直入に頼むという、文化の違いがあるという。

このように、コミュニケーションの基本形の違いを理解することによって、異文化間で第二言語を用いた場合のミスコミュニケーションを軽減することが出来るだろう。

州立大学の南教授によると、同校の国際教育週間の一環としておこなわれたもので、学部生や大学院生が参加した。



（文責・写真：清水）

在サンフランシスコ  
日本国総領事館イン  
フォメーションセン  
ターから



### 総領事館インフォメーションセンターから

#### 第43回小学生日本語お話大会」開催のお知らせ

当館及び北加日米会は「第43回小学生日本語お話大会」を開催致します。本大会に関する詳細については、総領事館のホームページにも掲載されておりますので、ぜひご覧下さい。

■日時：2015年3月1日（日）午後1:00～午後4:30

■会場：JCCNC (The Japanese Cultural and Community Center for Northern California)  
1840 Sutter Street, San Francisco, CA 94115

本件問合せ先：文化事業コーディネーター 馬場真莉子 ([baba.mariko@sr.mofa.go.jp](mailto:baba.mariko@sr.mofa.go.jp))

#### 学校訪問プログラムご案内

当館では、日本文化や日本について学ぶ初等・中等教育機関（K-12）の生徒を対象に、日本への理解を更に深めてもらうことを目的とし、当館職員による[学校訪問プログラム](#) (School Visit Program)を実施しています。ご要望に応じてバイエリアの学校を中心に訪問致しますので、授業の一環としてご活用下さい。

本件問合せ先：教育担当 Steven Goldman ([steven.goldman@sr.mofa.go.jp](mailto:steven.goldman@sr.mofa.go.jp))

## 『言葉の窓』



### 「漢字を教える難しさ」 カリフォルニア大学デービス校 伊藤潤子

皆さんの学校では漢字の書き方をどのように指導していますか。先日私が教えている大学で漢字の書き方の指導に関する話し合いが行われた。きっかけは「父」という漢字。上の部分に下の部分をつけて「必ずつけるように」と教えた先生もいれば、「絶対につけてはいけない」と教えた先生もいる。同じプログラムで教えているので一度皆で話し合い、漢字の書き方の指導を統一した方がいいということになった。



デービスでは、今学期6人の講師が1年生のクラス8セッションを担当している。今年から1年生のクラスは教科書が「げんき」に変わり、スケジュールもアセスメント（クイズ、試験、課題）も同じものを使うようになった。しかし、それぞれ先生の個性があるので、教え方は自由。ただ毎日一つの文法項目を教え、基礎練習から応用練習まで持っていかなければならないので、50分授業の中で漢字の指導に費やせる時間は限られてくる。

ミーティングでは、教科書体で書かれた「げんき」の漢字を見て、点画のはねやとめ、点や線の長さなどについて確認し合った。しかし、先生によって字体の認識にかなり違いがある。話し合いが一向に進まないの、漢字の採点方法を統一しようということになり、よくある漢字の間違いを挙げて、部分点をあげるかどうか話し合った。例えば「書く」という漢字。六画目の縦線の上の部分が出ていなかったら「まるまる1点減点」と答えた先生が半数、「部分点をあげる」と答えた先生が半数。では、「来る」という漢字はどうか。過半数の先生が「五画目の縦線の上の部分が出てなかったら0点」と答えた。同じ日本語教師でもかなり許容範囲が違うことに驚かされた。結局話し合いは「はねやとめの間違いは0.5点、点や線の長さ、方向、位置の間違いは0.5点、別字になってしまったら0点」ということで落ち着いたが、議論はかなりヒートアップした。

デービスでは、コミュニティーカレッジからの編入生も多く、中にはクラスで漢字を全然習わなかったという学生もいる。また高校で日本語を勉強した学生の中には、文法を知っていて話せても漢字が書けず、大学のクラスについていけない学生も数多くいる。教える側もそういう学生を対象に特別な漢字の指導をする訳にはいかず、自主学習に任せることになるが、漢字の苦手意識はどんどん高まっていくようだ。また、近年中国からの留学生が増え、1年生のクラスなどはクラスの半数を漢字圏の学生が占めるようになった。漢字の教え方に関する話し合いはこれからも続きそうだ。

## 先生の紹介欄



### 先生の紹介欄

#### ジーマン佐藤美子先生

- お名前を教えてください。  
ジーマン佐藤美子 (Yosiko Sato Zimmerman) と申します。
- 教えている学校名、町を教えてください。  
レディングにあるシャスタ・カレッジ (Shasta College) というコミュニティーカレッジで、非常勤講師として勤務しております。レディングはサクラメントから北に車で2時間半程のところにあります。



➤ **日本語教師はいつから？**

初めて担任を持たせていただいたのは、2003年の春学期でした。1学期だけという契約で、母校のペンシルバニア州立大学で初級日本語を3つと、上級リーディング・ライティングのクラスを1つ任されました。学部新卒、教師経験もほとんど無く、いきなり4クラスはかなり大変でした。その後応用言語学で修士号を取得、2007年の春学期にCSUサクラメントで一学期、初級日本語2クラスを担当させていただきました。

現在勤務しているシャスタカレッジでは2008年秋学期よりお世話になっております。

➤ **ご趣味は？**

園芸です。2006年にこちらに引っ越してきてから、夏にはプランターなどで細々とトマトなどを育ててきました。が、もっと真剣に野菜作りをしたいとの思いから、去年は庭に大きな畑を作り、しつこい鹿対策にフェンスも立てました。去年のクリスマスプレゼントに「大人可愛い」ゴム長靴を買ってもらったので、夏の畑仕事が今から楽しみです。それから、三味線を弾きます。10歳から高校卒業してアメリカに留学するまで習っていました。旅行も大好きです。でも今は手のかかる子供が3人（6歳・3歳・2歳）居り、なかなか遠出は難しいです。子供達が巣立ったらまた20代の頃のように色々な国にぶらりと出かけたいです。

➤ **日本の出身地は？**

岩手県花巻市です。花巻は内陸にあるので、4年前の東北大震災の時には津波の被害は免れましたが、実家では雪のちらつく寒空の下、4日程停電が続いたと聞かされました。ちなみに、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で世間に知られるようになった「じえじえ」ですが、花巻では「じゃじゃじゃ」と言います。

➤ **アメリカに来てから何年ですか。**

通算14年になります。初めてアメリカに来たのは1998年です。アーカンソー、ペンシルバニア、ニューヨークに以前住んでいました。カリフォルニアに引っ越してきたのは2006年です。

➤ **仕事について、何か一言お願いします。**

やりがいがあり楽しいけれども大変、というのが本音です。失敗を繰り返しながら、より分かり易く面白い授業がしたい、と教案やプロップを練り直す日々です。「先生、分かった!」と言ってもらえた時、または1コマ2時間15分という長いクラスの後、「今日の授業、あつという間だった!」と言ってもらえた時など、小さく（心の中で）ガッツポーズをしています。それから最近、あまり先回りして手を焼きすぎるのは学生の成長には良くないなと気付きました。いかに「自分でやらせる」か、考える日々です。

➤ **会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。**

カリフォルニアの北の果てでの日本語教育、我が校のプログラム自体が小さいため時々心細くなることがあります。距離に負けず、これから例会やワークショップに積極的に参加していきたいと考えております。お会いした時には、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

**森口由美先生**

➤ **お名前を教えてください。**

森口由美です。

➤ **教えている学校名、町を教えてください。**

サンフランシスコ大学 (University of San Francisco, San Francisco) とデアンザ大学 (De Anza College, Cupertino) です。

➤ **日本語教師はいつから？**

日本で1990年代初めに教え始めました。

➤ **ご趣味は？**

ワインです。

➤ **日本の出身地は？**

京都です。

➤ **アメリカに来てから何年ですか。**

約20年です。



NEW!

➤ 仕事について、何か一言お願いします。

月並みですが、学生が飽きない楽しいクラスにしていけるよう、一つの教授法にとらわれず、良いと思った教授法などがあったらその都度入れていくよう心がけております。学生が「今日も楽しく勉強できた」と思えるクラスにすべく日々努力しております。職場の先輩方から色々学ばせてもらい楽しく仕事をさせていただいております。ありがとうございます。

➤ 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。

学生一人一人に対し尊敬する気持ちを忘れずにいると学生が一体何を必要にしているのか自ずと分かってきます。その期待に応えてあげられ、学生がクラスで日本語で自然に話しかけてくれたとき、私はこの仕事を続けて本当に良かったと思います。最後に私の大学の宣伝になるんですが、サンフランシスコ大学はゴールデンゲートパークの近くにある大変綺麗な大学です。春になると Lone Mountain Campus の庭に華やかな花が咲きあふれます。デアンザ大学は、クパティーノの Apple に近いところにある、こちらも閑静な住宅街の中の静かなコミュニティー大学です。皆様、お時間がありましたら是非お立ち寄りくださいませ。

私の学校でこんなことが.....

北加日本語教師会ニュースレターでは新しいコーナーを設けました。皆様の学校でのイベント、あるいは日々の授業のようすなどを写真に一言添えてお送り下さい。春、秋のニュースレターで発信させていただきます。いつでも結構です。どうぞ神原 ([wkambara@berkeley.edu](mailto:wkambara@berkeley.edu)) まで写真にキャプションを一言添えてお送り下さい。お待ちしております。

今回は UC バークレーから一枚。



UC バークレー日本語プログラムの学生達が Words in Action という学内イベントで日本の昔話をアレンジした劇を演じる。(UC バークレー 宮本先生)

編集後記

今号もニュースレターへのご協力、ありがとうございました。今後ともよろしく願い申しあげます。ご意見、ご示唆等、ございましたら、どうぞ下記までご連絡下さい。

神原: [wkambara@berkeley.edu](mailto:wkambara@berkeley.edu)

清水: [masakoshimizu@sbcglobal.net](mailto:masakoshimizu@sbcglobal.net)

北加日本語  
教師会連絡先

NCJTA Officers

<事務局>

<http://www.ncjta.org/>

NCJTA. c/o Nobuko Takamatsu

City College of San Francisco

50 Phelan Avenue, A108

San Francisco, CA 94112

E-mail: [nobukot@sbcglobal.net](mailto:nobukot@sbcglobal.net)

<役員>

会長： Nobuko Takamatsu 高松信子(同上)

副会長： Fumiko Grant グラント文子

City College of San Francisco/San Francisco State University

E-mail: [fgrant@ccsf.edu](mailto:fgrant@ccsf.edu)

書記： Kimiyoshi Inomata 猪俣公克

City College of San Francisco

E-mail: [kinomata@ccsf.edu](mailto:kinomata@ccsf.edu)

会計： Seiko Kosaka 高坂聖子

City College of San Francisco

E-mail: [seikogon@gmail.com](mailto:seikogon@gmail.com)

名簿： Kyoko Suda 須田恭子

University of San Francisco

E-mail: [sudak@usfca.edu](mailto:sudak@usfca.edu)

ニュースレター編集： Wakae Kambara 神原若枝

University of California, Berkeley

E-mail: [wkambara@berkeley.edu](mailto:wkambara@berkeley.edu)

広報： Masako Shimizu O'Bryan 清水オブライアン真佐子

E-mail: [masakoshimizu@sbcglobal.net](mailto:masakoshimizu@sbcglobal.net)

フランク連絡員: Masahiko Minami 南雅彦

San Francisco State University

E-mail: [mminami@sfsu.edu](mailto:mminami@sfsu.edu)

<各レベル代表>

小学校代表： Takeko Morioka 森岡妙子

Rosa Parks JBBP Elementary School

E-mail: [taeko3568@aol.com](mailto:taeko3568@aol.com)

中学校代表： Rie Tanaka 田中理恵

Presidio Middle School

Email: [rietanaka@gmail.com](mailto:rietanaka@gmail.com)

高校代表： Tomokazu Morikawa 森川知計

George Washington High School

E-mail: [tomokazu28@gmail.com](mailto:tomokazu28@gmail.com)

学園代表： Yoko Uda 宇田陽子

Soko Gakuen

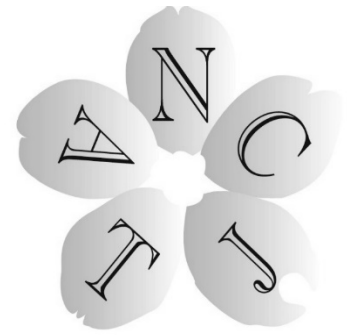
E-mail: [yokouda\\_n@yahoo.co.jp](mailto:yokouda_n@yahoo.co.jp)

コミュニティーカレッジ代表： Kimiyoshi Inomata 猪俣公克

大学代表： Junko Ito 伊藤潤子

University of California, Davis

E-mail: [jito@ucdavis.edu](mailto:jito@ucdavis.edu)



Northern California Japanese Teachers' Association

The Japan Foundation, Los Angeles and  
Northern California Japanese Teachers' Association  
presents

## JF STANDARD Familiarization Workshop JF スタンダード理解促進研修

**Sunday, March 22, 2015**

**From 9:00 AM to 4:00 PM  
(Registration starts at 8:30 AM)**

(Due to the limited seating, advanced registration is required.  
Please fill out the application form and send it to NCJTA **by March 10, 2015.**)

**University of California, Berkeley  
Moffitt Undergraduate Library**  
(please see the map below.)

JF スタンダードは、ヨーロッパの言語教育の基盤である CEFR の考え方を基礎に、国際交流基金が開発した世界共通の日本語教育のスタンダードで、今自分が学んでいるレベルがどこにあるかを知ることができるツールです。また、JF スタンダードでは「日本語を使って何がどのようにできるか」に重点を置いて日本語の熟達度のレベルを提示しているため、教える側、学ぶ側、双方にとって目標がより明確になり、学習成果もとらえやすくなるという利点があります。JF スタンダード理解促進研修では、海外の日本語教育に詳しい国際交流基金の専門家が、JF スタンダードについてご紹介するとともに、カリキュラム作成や評価など様々な場面における活用法をわかりやすく説明します。

The JF Standard was developed based on the concepts supporting the CEFR, which serve as the basis of language education in Europe. By using the JF Standard, it is possible to see the level of proficiency by how well the learner uses Japanese ("Can-Do" approach).

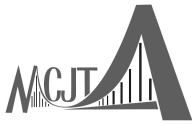
At the JF Standard Familiarization Workshop, a Japanese language adviser at the Japan Foundation introduces the JF Standard and guides the participants in how to use it for curriculum development and assessment.  
For more information, please go to <http://jfstandard.jp/>

**Register NOW! Free Registration (except "obento" order). Please fill out the registration form today!**



**JAPAN FOUNDATION**  
LOS ANGELES





北加日本語教師会 春の例会

**NCJTA & JAPAN FOUNDATION, LOS ANGELES PRESENT:**

**JF Standard Familiarization Workshop**

**Sunday, March 22, 2015**

**University of California, Berkeley (Moffitt Undergraduate Library)**

**REGISTRATION FORM**

**DEADLINE: TUESDAY, MARCH 10**

**(Received, Not postmarked)**

Please complete, make check payable to NCJTA and mail to:

Seiko Kosaka  
% Ms. Nobuko Takamatsu  
City College of San Francisco  
50 Phelan Avenue A108, San Francisco, CA 94112

Name: \_\_\_\_\_

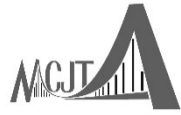
Email address: \_\_\_\_\_

School/Institution: \_\_\_\_\_

**Please check a box below and send a check to the above address with this form.**

- |                                                                                                                                      |                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| <input type="checkbox"/> 2015 Renewal/New Membership fee (\$15) & Lunch (\$5)<br>( <u>Circle ONE</u> : Vegetarian OR Non-Vegetarian) | <u>\$20.00</u> |
| <input type="checkbox"/> Lunch ONLY for Current NCJTA Members<br>( <u>Circle ONE</u> : Vegetarian OR Non-Vegetarian)                 | <u>\$5.00</u>  |
| <input type="checkbox"/> Lunch ONLY for Non-NCJTA Members<br>( <u>Circle ONE</u> : Vegetarian OR Non-Vegetarian)                     | <u>\$15.00</u> |
| <input type="checkbox"/> 2015 NCJTA Membership Fee ONLY                                                                              | <u>\$15.00</u> |
| <input type="checkbox"/> 2015 NCJTA Membership Fee for Students ONLY                                                                 | <u>\$5.00</u>  |
| <input type="checkbox"/> Workshop ONLY (no lunch, no NCJTA membership)                                                               | FREE           |

\*Please fill out the NCJTA new member registration form if you are a new member.



# 北加日本語教師会

## 会費納入/新会員登録用紙

前年度もしくは前々年度から未納入の会員の方々におかれましては、過去にさかのぼって未納入分はご請求いたしませんので、是非とも今年度分からお支払いいただけますよう、切にお願い申し上げます。2015年度分の会費は2015年1月1日から2015年12月31日まで有効となっております。

年会費 一般\$15、学生\$5

Check payable to: NCJTA

Mail to: Seiko Kosaka

% Ms. Nobuko Takamatsu

City College of San Francisco, 50 Phelan Avenue A108, San Francisco, CA 94112

(新規・継続) どちらかにマルをつけてください。

Name: \_\_\_\_\_

Affiliation: \_\_\_\_\_

School/office Address: \_\_\_\_\_

Home Address: \_\_\_\_\_

E-mail: Home: \_\_\_\_\_ Work: \_\_\_\_\_

Phone: Home: \_\_\_\_\_ Work: \_\_\_\_\_

1) 受理確認メール (要・不要) 2) 領収書 (要・不要) どちらかに○をつけてください。

.....き.....り.....と.....り.....線.....

## 住所変更/氏名変更等届出用紙

下記のうち該当する変更事項を○で囲み、必要な情報を書き入れてください。変更のない方は、提出の必要はありません。

Mail to: Seiko Kosaka

% Ms. Nobuko Takamatsu

City College of San Francisco, 50 Phelan Avenue A108, San Francisco, CA 94112

1. 氏名の変更 旧氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

新氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

2. 住所変更/勤務先変更 (新しい情報だけご記入ください。)

Name: \_\_\_\_\_

Affiliation: \_\_\_\_\_

School/office Address: \_\_\_\_\_

Home Address: \_\_\_\_\_

E-mail: Home: \_\_\_\_\_ Work: \_\_\_\_\_

Phone: Home: \_\_\_\_\_ Work: \_\_\_\_\_



北加日本語教師会

## 北加日本語教師会・役員立候補届用紙

現在、以下の役職が空席です。立候補されたい役職に○をつけてください。

|  |       |  |          |
|--|-------|--|----------|
|  | 副会長   |  | 会計       |
|  | 小学校代表 |  | ウェブサイト担当 |

役員に立候補ご希望、もしくはご推薦されたい方はこの用紙にご記入の上、下記の住所までご郵送下さい（3月10日必着 高松まで）。

宛先：Nobuko Takamatsu

City College of San Francisco, 50 Phelan Avenue A108, San Francisco, CA 94112

お名前（日本語） \_\_\_\_\_  
(ふりがな) \_\_\_\_\_

お名前（英語） \_\_\_\_\_

Position Statement（なぜその役職に興味があるのか簡単・簡略に述べてください）

|  |
|--|
|  |
|--|

連絡先：

E-mail：

Tel：

勤務先：